

第2学年国語科学習指導案

単元名 説得力のある意見文を書こう

教材名 「考えるイルカ」(東京書籍 中学校2年)

「意見文を書こう」(東京書籍 中学校2年)

1 単元について

佐賀県の生徒の実態として、平成21年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「読むこと」、「書くこと」、「言語事項」の2領域1事項に課題が見られた。特に「読むこと」では、「展開を押さえ正確に理解し、ものの見方をとらえる」こと、「書くこと」では、「資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを明確にして書く」ことに課題があるため、年間指導計画の立案や単元構想に当たっては、この課題の克服を常に頭において考える。これまでの学習において、生徒は1年生の時に「ハチドリの不思議」で文章の構成や因果関係に注意して読み取ることを学んでおり、説明的な文章の構成や指示語や接続語の働きについて学習している。また、「根拠を示して書こう」では、明確な根拠を挙げて意見文を書くことを学んでいる。しかし、自分の意見を明確にし、それを相手に分かりやすく適切にまとめるという活動に苦手意識をもつ生徒が少なくない。これは身に付けた知識や技能を条件や目的に応じて使うことや文章の構成や論理の展開を考えて文章を書く経験が不足しているからだと考えられる。そこで本単元では、これまでに身に付けた力を使って説明的な文章の読み取りを行い、その構成や論理の展開を参考にして、自分の意見を明確にし、意見文としてまとめる道筋を知るといった段階を踏んだスモールステップによる学習を行う。そして、この一連の学習を通して身に付けた知識・技能を使って、構成を工夫し、自分の意見文を書くという学習活動を行いたい。

本単元では、まず最初に、説明的な文章を素材とし、原因や根拠に注目して文章の論理の展開を読み取る学習を行う。そして、その読み取った筆者の論理の展開の仕方について吟味し、自分の表現の工夫につなげる言語活動を位置付けたい。本教材「考えるイルカ」は、イルカの思考方法を調べるためにいくつかの訓練及び実験を行い、その結果について筆者の考察や判断を述べた文章である。「『賢い』とはどういうことだろう。」という問いと、それに対する「筆者の考え(結論)」が「イルカの思考の調査実験」の話題を通して展開される構成になっている。また表現の特徴として、筆者が研究者としての立場に立ち、慎重に考察していることを文末表現から読み取ることができる。さらに、本教材における筆者の考察は、実験結果を根拠として述べている部分だけでなく、推論で述べられている部分も多い。筆者はその推論に説得力をもたせるために、類似の例を利用している。これらの工夫を読み取らせることによって論理の展開の仕方を吟味させ、読み解き方を学ばせたい。そして「意見文を書こう」で示される、相手の意見に対する反論を含んだ意見文の書き方も参考にして自分の意見文を書く。「考えるイルカ」で身に付けた力を活用して集めた情報の内容を検証して自分の意見に生かす力を身に付けさせたい。

本単元では、多様な考え方ができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く活動(第2学年「B書くこと」(2)イ)を言語活動として設定する。筆者の文章の構成の仕方や筆者の意見の根拠を検討するという点で「読む」教材の読みを深め、論理的思考力の育成にもつながると考える。また、自分の考えを相手に明確に伝わるように書く力を身に付けるため、説明的な文章の効果的な構成の仕方や論理の展開について知る。情報の整理の仕方を知る。情報や根拠の吟味の仕方を知るといった段階を踏んだスモールステップによる学習活動を行う。そして、その学習活動の中で身に付けた知識や技能を使って自分の意見文を書くという言語活動を取り入れる。

2 単元の指導目標

- (1) 社会生活の中から課題を設定させ、情報を収集、整理、検証して自分の考えをもたせる。
- (2) 目的や条件に応じて構成や表現を工夫させ、伝えたいことが明確に伝わるように意見文を書くことができるようにする。

3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 自分で選んだ課題に応じて情報を集め，比較，検討しながら自分の考えをまとめようとしている。 【B 書くこと(1)ア】
イ 書く能力	1 根拠を明らかにして分かりやすい構成で意見文を書いている。 【B 書くこと(1)イ】 2 分かりやすい説明や具体例を加えて，事実や意見が相手に効果的に伝わるように書いている。 【B 書くこと(1)ウ】 3 自分の書いた文章を読み返し，語句や文の使い方，段落相互の関係などに注意して説得力のある文章になるようにしている。 【B 書くこと(1)エ】
ウ 読む能力	1 多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て，自分の考えをまとめている。 【B 読むこと(1)オ】
エ 言語についての知識・理解・技能	1 相手や目的に応じて文章の形態や文章表現に違いがあることを理解している。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ)】

4 指導と評価の計画(全8時間)

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価の方法	
一	1	1 課題に対して自分の意見を持ち，まとめることへの意識をもつ。	自分なりの課題をもたせるために，課題に対する意識付けができるような資料を提示する。	エ 1 【話合いの観察，ワークシートの記述】	
		2 意見文例を読み比べて説得力のある意見文の書き方のポイントを知る。	構成や論理の展開の工夫などに気付かせ，ポイントとしてまとめさせる。		
	2	3 これまでの説明的な文章の学習を振り返る。	基本的な構成の仕方や，特徴について想起させる。		イ 1 【話合いの観察，ワークシートの記述】
		4 学習目標を設定し，学習計画を立てる。	学習の流れを生徒が把握できるように配慮する。		
二	3	5 「考えるイルカ」の全文を通読し，初発の感想をもつ。	筆者の説明の仕方の特徴に着目させる。	イ 1 【ワークシートの記述】	
		6 文章の構成を理解する。	意見文を書くためのモデルとなるように，ワークシートにまとめさせる。		
	4	7 筆者の意見を読み取り，筆者の説明の仕方について評価する。	自分の意見文を書く際の参考になるように筆者の説明の仕方でのよい点をまとめさせる。		イ 2 【ワークシートの記述，発言】
		5	8 自分が書く意見文の課題を設定する。		

	9 設定した課題について情報を集める。	参考資料や参考図書を明確にするよう指導する。	ウ 1 【選んだ資料】
	10 集めた情報を基に，自分の意見を明らかにする。	読み手に伝えたいことを明確にして情報を選択するよう指示する。	
6	11 構成を工夫して意見文を書く。	「考えるイルカ」の構成を利用して考えさせる。	イ 1 【ワークシートの記述】
三	7 12 グループで意見文を読み合い，評価し合う。	評価の観点に従って相互評価をさせる。	イ 3 【話合いの観察】
8	13 自分の意見文に加筆修正をする。	友達の意見や書き方のよい点を利用して書くようにさせる。	イ 3 【作品の分析，作業の観察】
	14 学習のまとめをする。	何を学んだかを確認させる。	

5 - 1 1 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

説得力のある意見文の書き方のポイントに気付かせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況の生徒への手立て
導 入	<p>1 テレビCMや新聞記事などを讀んだりして、伝えたいことをどう表現しているのか考える。</p> <p>2 課題に対して自分の意見を持ち、まとめることへの意識をもつ。</p> <p>3 学習の見通しを持ち、学習計画表を書く。</p>	学習 計画表	<p>自分なりの感想や意見の もちやすい資料を準備する。</p> <p>意見を発表する文章には どのような形態や表現が あるのかに気付くよう助 言する。</p> <p>単元を見通して学習の目 標をもたせ、計画を立て させる。</p>	
説得力のある意見文の書き方のポイントについて考えよう				
展 開	<p>4 2つの意見文例を讀み比べて気づきを発表する。</p> <p>5 説得力のある意見文の書き方のポイントを知る。</p>	ワーク シート	<p>2つの意見文を讀み、書 き方の工夫について考え させる。</p> <p>読み手が納得する書き方 について気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成，論理の展開の工夫など <p>出た意見を箇条書きにす るよう指示し，ポイント の形でまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立場や意見，根拠が明 らかである ・具体例が挙げてある ・構成に工夫がある 	<p>エ - 1 2つの意見文例の違 いに気付いている。</p> <p>【発表の観察，ワークシートの記述】</p> <p>違いを判断する評価項目を できるだけ具体的に指示す る。</p> <p>エ - 1 説得力のある意見文 の特徴を書き方のポイントと してまとめている。</p> <p>【ワークシートの記述】</p> <p>具体的なまとめ方の例を提 示する。</p>
ま と め	<p>6 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p> <p>7 自己評価をする。</p>	学習 計画表	<p>説得力のある意見文を書 く参考にするために，説 明的な文章の基本的な構 成や特徴を学習すること を告げる。</p>	<p>エ - 1 相手や目的に応じて 文章の形態や文章表現に違 いがあることに気付いてい る。</p> <p>【学習計画表の反省】</p>

5 - 2 2 / 8 時の指導計画

(1) 指導目標

説明的な文章の基本的な構成や特徴を確認させる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 C の 状 況 の 生 徒 へ の 手 立 て
導 入	1 学習計画表を確認し 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て、授業 の 流れを確認させる。	
	説明的な文章の基本的な構成や特徴を確認しよう			
展 開	2 前時に読み比べた意見文を使って、構成や説明の仕方などの特徴をまとめる。	生徒用 手引き 7	序論・本論・結論という文章構成の基本や頭括型、双括型、尾括型などの構成の基本的な型について確認させる。	イ - 1 説明的な文章の文章構成の基本や型について理解している。 【発言の観察】 学習の手引き等を使って、具体的に説明する。
	3 例文を分析し、その文章構成と説明の仕方の特徴をとらえる。	ワーク シート	グループ活動を行い、意見を出し合う中で、できるだけ多くの特徴に気付かせる。 ・構成 ・接続語の使い方 等	イ - 1 説明的な文章の構成や説明の仕方などの特徴に気付いている。 【話合いの観察・ワークシートの記述】 友達の意見を参考にしよう指示する。
	4 気付いたことを発表し、説得力のある説明の仕方としてまとめる。	ワーク シート	前時にまとめた説得力のある意見文の書き方のポイントを補強するものであることに気付かせる。	
ま と め	5 本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。		「考えるイルカ」を読み、文章構成や説明の仕方などの特徴をまとめることを告げる。	イ - 1 説明的な文章の基本的な構成や特徴を確認できている。 【学習計画表の反省】
	6 自己評価をする。	学習 計画表		

5 - 3 3 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

文章を読んで全体の構成や各部分の役割をとらえさせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 文章を読んで、全体の構成や各部分の役割をとらえよう </div>			
展 開	2 「考えるイルカ」を 通読し、内容を一通り 読み取る。	ワーク シート	タイトルに着目させ、話 題の中心が何かを考えさ せる。 新出漢字や読めない漢字、 注意する語句について確 認させる。 指名して読ませる。 全体をいくつかの意味段 落にまとめるように指示 する。 ・3つのまとめり	
	3 文章全体の構成を色 分けをしてとらえる。 4 段落の内容を読み取 って各部分の役割をと らえる。	ワーク シート マーカ ーペン	「賢さ」に関する問いと 答えを指摘させ、前時に 学習した説明的な文章の 基本的な構成に照らし合 わせて考えさせる。 ・色分けをさせる ・額縁構造に気付かせる ・簡単に図式化する 実験の部分が問いに対す していることに気付かせ る。	イ - 1 文章全体の構成につ いて理解し、筆者の構成の特 徴と工夫に気付いている。 【ワークシート の記述・学 習プリントの内容】 整理する項目のはっきりし たワークシートを工夫し、 細かく指示と助言をする。
ま と め	4 本時の振り返りをし、 次時の見通しをもつ。		各部分を読み、文章構成 や表現の仕方の特徴をま とめることを告げる。	イ - 1 文章を読んで全体の 構成や各部分の役割をとらえ ている。 【学習計画表の反省】
	5 自己評価をする。	学習 計画表		

5 - 4 4 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

筆者の考察を要約し，その表現の特徴に気付かせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し， 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て，授業 の流れを確認させる。	
	筆者の考察を要約し，その表現の特徴を確認しよう			
展 開	2 筆者の考察の部分を読み，意見の中心となっている部分をとらえる。	ワーク シート マーカ ーペン	筆者の意見の中心となっている部分にマーカーペンで線を引かせる。	イ - 1 文章構成の特徴や各部分の役割について理解している。 【ワークシート の記述・活動の観察】 色分けの仕方をを提示する。
	3 筆者の考察の部分を読み，要約する。	ワーク シート 学習プ リント (要点) 学習の 手引き 3(要点)	文末表現等に注意して筆者の意見の中心部分と付加部分を読み分けさせ，簡潔に要約させる。	イ - 2 筆者の表現の特徴について考え，自分なりの気付きをもつことができている。 【発言の内容・ワークシートの記述】 まとめ方の例を提示し，項目の分かりやすい補助プリントを準備する。
	4 筆者の意見を導き出すまでの表現の仕方について考える。	ワーク シート	図式化した構成図と筆者の意見を合わせて全体の表現の仕方について考えさせ，気付いたことをまとめさせる。 ・巧みな具体例 ・分かりやすい構成 ・接続語や文末表現の工夫	
ま と め	5 本時の振り返りをし， 次時の見通しをもつ。		「考えるイルカ」の表現の特徴を利用して意見文を書くことを告げる。	イ - 2 意見の要約や表現の特徴を考えることで，参考になる事柄に気付いている。 【学習計画表の反省】
	6 自己評価をする。	学習 計画表		

5 - 5 5 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・環境問題等の社会生活にかかわる問題を自分の課題として設定させる。
- ・図書検索やインターネット検索を利用して必要な情報を収集させる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
	自分の意見文の課題を設定し、必要な情報を収集しよう			
展 開	2 導入時を想起し、環 境問題についての意見 文を書くことを確認す る。	ワーク シート	事前に行ったアンケート から最も関心の高かった 内容について意見文の形 で書くことを確認させる。	
	3 課題を設定し、必要 な情報を収集する。	ワーク シート 生徒用 手引き 5	課題の設定の仕方を手引 き等を使って具体的に説 明する。 課題を設定することが難 しい生徒には事前のアン ケートで出た意見等を参 考にできるよう準備する。	ア - 1 自分なりの課題を設 定し、必要な情報を収集し ようとしている。 【活動の観察・ワークシートの 記述】 ・事前にとっておいたアン ケートから、いくつか課 題の例をまとめておき、 適宜提示する。 ・手引きを活用させる。 ・情報収集の手立てを具体 的に示し、資料の提示も 行う。
ま と め	4 本時の振り返りをし、 次時の見通しをもつ。 5 自己評価をする。		収集した情報を整理し、 構成を工夫して意見文を 書くことを告げる。	ア - 1 自分の意見文の課題 を設定し、必要な情報を収集 している。 【学習計画表の反省】

5 - 6 6 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 収集した情報を整理させ、自分の意見をもたせる。
- ・ 意見や根拠を明らかにし、分かりやすい構成を工夫して意見文を書かせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況の生徒への手立て
入	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。		学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
	収集した情報から自分の意見をもち、構成を工夫して意見文を書こう			
展 開	2 収集した情報を整理 し、自分の意見をもつ。	ワーク シート	意見を一つに絞り込ませ、 その意見を述べるための 根拠として必要な情報を 選択するよう指示する。 意見と根拠はワークシ ートにまとめさせる。	イ - 1 収集した情報を目的 や条件に応じて整理してい る。 ア - 1 収集した情報を基に 自分なりの考えをもとうとし ている。 【ワークシート の記述】 作業の手順を示した補助教 材を準備し、活動の流れを 細かく指示し、助言する。
	3 「考えるイルカ」の 構成を参考にして、自 分の意見文の構成を考 える。 4 意見文を書く。	ワーク シート ワーク シート	前時までにまとめた、表 現の仕方の特徴やよい点 を利用して、意見文を書 くことを確認させる。 構成や表現の仕方に注意 しながら書かせる。 ・原稿用紙800字程度	イ - 1 構成を工夫して説得 力のある意見文を書こうとし ている。 【活動、発言の観察】 【作品の記述内容】 前時までの学習が分かるよ うに黒板に構成の基本など の資料を掲示する。
ま と め	5 本時の振り返りをし、 次時の見通しをもつ。 6 自己評価をする。	学習 計画表	書いた意見文を相互評価 することを告げる。	イ - 1 収集した情報から自 分の意見をもち、構成を工夫 して意見文を書こうとしてい る。 【学習計画表の反省】

5 - 7 7 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

- ・意見文を相互評価し、自分の表現を見直させる。
- ・意見文を相互評価し、自分のものの見方や考え方を広げさせる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況の生徒への手立て
導 入	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 意見文を相互評価し、自分の表現に生かしたり、ものの見方 や考えを広げたりしよう </div>			
展 開	2 説得力のある意見文 の書き方のポイントを 利用して、書いた意見 文を相互評価する。	ワーク シート 評価表	意見文例の読み比べと「考 えるイルカ」の書き方の 工夫をまとめたものを評 価の観点として利用させ る。 「意見文を書く」の内容 にも簡単に触れ、参考に させる。 グループ内で回し読みを して、よいところや改善 点を評価表に記入させる。	イ - 3 友達の書いた意見文 についてよいところを評価 し、改善点を助言している。 【発言の観察・評価表の記述】 気付きがない場合は感想で よいことを指示する。
	3 自分の意見文を加筆 修正する。	ワーク シート 評価表	相互評価をして、友達か らもらったアドバイスを 生かして自分の意見文を 加筆修正させる。	イ - 3 友達の助言や気付き を自分の意見文に生かして いる。 【作品の分析】 参考にする助言や気付きを 絞るように指示し、加筆修 正の仕方を示す。
ま と め	4 本時の振り返りをし、 次時の見通しをもつ。		グループの代表者の意見 文を発表し、意見交流会 を行うことを告げる。	イ - 3 意見文を相互評価 し、自分の表現に生かしたり、 ものの見方や考え方を広げよ うとしている。 【学習計画表の反省】
	5 自己評価をする。	学習 計画表		

5 - 8 8 / 8時の指導計画

(1) 指導目標

意見交流会を通して、自分のものの見方や考え方を広げさせたり深めさせたりする。

(2) 展開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法 Cの状況の生徒への手立て
導	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。	学習 計画表	学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
	意見交流会を行い、自分のものの見方や考え方を広げよう			
展 開	2 グループの代表者を 決め、発表の打ち合わ せをする。	ワーク シート	意見文を発表する代表者 とその意見文のよさを解 説する代表者を決めさせ る。	
	3 意見文を発表し、そ の意見文のよさを紹介 する。	評価表	説得力のある意見文の評 価の観点に照らし合わせ て、よいところを紹介さ せる。 発表を聞く生徒は、評価 表に気付きをメモしなが ら聞くように指示する。	イ - 3 友達の発表を参考に して、自分のものの見方や考 え方を広げようとしている。 【発表の観察】
	4 意見の交流をする。	評価表	参考になった点や新たに 気付いたよいところを發 表したり、質問をしたり させる。 活発な意見の交流ができ るよう形態や方法を工夫 する。 ・一斉、少人数等	評価表の書き方例を示し、 友達の意見を聞いて納得し た場合はそのまま取り入れ て記入するように指示す る。
ま と め	5 単元の振り返りをし、 次の単元への見通しを もつ。 6 自己評価をする。	学習 計画表	書いた意見文は、更に推 敲（すいこう）して清書 することを告げる。	ア - 1 自分が設定した課題に ついて情報を収集、整理し、 構成や表現を工夫して意見文 を書くことができています。 【学習計画表の反省】